

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県森林公園金川の森	所管課	県有林課
所在地	笛吹市一宮町国分1162-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成8年5月30日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県林業公社、平成18年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県都市公園条例		
設置目的	金川沿岸の水害防備の歴史を有する貴重な平地林を将来にわたり保存し、保安林機能の増進を図るとともに県民の保健休養の場として活用するため設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<p>面積:36.2ha</p> <p>主な施設</p> <p>どんぐりの森:管理事務所350㎡、遊具19基、ハーフキュー場21㎡等</p> <p>スポーツの森:ターゲットハードゴルフ場13,228㎡、電動アシスト自転車70台、遊具23基、マウンテイクコース10,590㎡等</p> <p>さくらの森:花見台1基、縁台7基等</p> <p>ふれあいの森:芝生広場6,635㎡、あずま屋1棟等</p> <p>かぶとむしの森:いきもの観察施設1基、空中観察施設1基、遊具7基等</p> <p>こまねびの森:ドッグラン1,084㎡、縁台3基等</p>		
主な業務内容	<p>施設等の維持保全に関する業務</p> <p>有料公園施設の利用の承認に関する業務</p> <p>森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務</p> <p>交通安全に関する講習会の実施に関する業務</p>		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<p>山梨県立県民の森保健休養施設(森林科学館、展望台、あずま屋等)</p> <p>山梨県立武田の杜保健休養林(健康の森、鳥獣センター等)</p>
---------------------	---

3 利用状況

単位：人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	公園利用者	248,450	276,300	278,800	
	利用者数合計	248,450	276,300	278,800	
	目標値	280,000	290,000	300,000	310,000
	目標値設定の考え方	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の6%増)	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の10%増)	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の20%増)	H26～30年の指定管理者提案内容 (H19実績値の25%増)
	対23年度比	100.0%	111.2%	112.2%	124.8%
稼働率					

4 収支状況

単位：円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	5,624,500	9,098,000	6,272,350	6,750,000
	指定管理者委託料	73,639,000	73,677,000	73,677,000	71,487,000
	その他	3,564,988	3,806,000	3,423,151	3,528,000
	収入合計(A)	82,828,488	86,581,000	83,372,501	81,765,000
支出	人件費	28,123,169	30,429,000	29,975,874	27,821,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	54,452,213	56,152,000	55,894,034	53,944,000
	(うち外部委託費)(B)	33,695,105	34,469,000	36,781,044	30,510,000
	支出合計(C)	82,575,382	86,581,000	85,869,908	81,765,000
収支差額(A - C)		253,106	0	2,497,407	0
外部委託比率(B ÷ C)		40.8%	39.8%	42.8%	37.3%
利用者一人当りの経費		267	246	264	231

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成25年4月～26年3月 実施方法：公園利用者、イベント参加者等へのアンケート 回答数：586人
-------	--

単位：%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
利用日、利用時間	66.4%	32.0%	0.0%	1.6%
利用料金	50.4%	38.0%	0.7%	10.9%
申し込み方法	81.7%	10.4%	1.0%	6.9%
設備・備品の状況	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
催物・事業内容	93.8%	0.0%	1.6%	4.6%
職員の接客態度	77.8%	21.4%	0.0%	0.8%
各項目の平均	75.6%	19.8%	0.5%	4.1%

利用者の意見	各ゾーンの施設充実を図り、イベントでは内容に工夫を凝らして企画したところ、多くの利用者から高い評価を得ることができた。改良意見としては、供食サービスに関する問い合わせや施設の清掃に係るものがあった。
利用者の意見への対応	好評だった施設、イベントについては、利用者ニーズがつかめたものであり、参考となる意見として受け止める。また、改良を求める意見については、供食サービスについては場所を案内し、清掃に係るものについては委託や職員により速やかに対応した。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の状況や利用頻度等を考慮しながら、計画に沿った維持管理業務を実施した。	業務計画書に沿い、適切な維持管理を行っている。施設の老朽化等を把握しながら対応し、利用者サービス、安全確保に努めた。また、2月の豪雪への対応も迅速であり、評価できる。
運營業務	2月の豪雪時には、やむを得ず臨時休園日を設けたが、これ以外は、年中無休や利用時間の延長を行うなど、利用者の利便性向上に努めた。	2月の豪雪以外は無休で営業し、いつでも気軽に訪れることのできる森林公園として利用者から好評を得ていることは評価できる。
自主事業	公園施設を有効活用し、子供たちの交通教室の実施や、各種スポーツ大会の開催、公園祭りの開催等、多彩な事業を実施した。また、地元住民やボランティア団体等と連携した事業も行った。	積極的に自主事業を企画・実施しており、利用者へのサービス向上に努めた。また、スポーツの森では交通教室を数多く開催し小学生等への交通安全啓発に貢献するなど、評価できる。
利用状況	本年度は、2月の豪雪や夏の酷暑等の影響もあり目標を達成することはできなかったが、前年度比 100.9% (約2,500人増)と利用者数は僅かながらも増やすことができた。	月別の利用状況を前年と比較すると、特に2月に大幅な減少が見られ、豪雪の影響が大きいものと思われる。これを考慮しても利用者数自体は微増しており、やむを得ないと判断する。
収支状況	本年度は、2月の豪雪による除雪費や、公園リニューアルに伴う増員分の支出が増加したことにより、約250万円の赤字となった。	マイナス収支の原因は、除雪費の支出、新たな施設の補助員への支出があげられるが、施設利用料収入が計画を下回っていることもある。新たな施設のPRが必要と思われる。
利用者満足度	利用者のニーズに沿った公園運営やイベント企画を行うことができ、良好な評価をいただくことができた。	「満足・十分」が3/4を占め、「不満足・不十分」が極めて低いことから、利用者のニーズを把握した、質の高い事業を展開したといえ、評価できる。
運営目標の達成状況	H25 利用者数 目標値 300,000人 実績値 278,800人 目標値に対し約93%の利用者があり、目標は概ね達成した。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	豪雪の影響などによるイベントの中止、休園等あり、目標値には至らなかったが、実績は約93%に達し、運営目標は概ね達成したと言える。また、利用者満足度も良好で、質の高いサービスを提供したことがわかり、指定管理業務は適正に行われたと評価できる。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	前回は、広報の強化、利用者の確保を指導しているが、新たな広報のため、行楽シーズンを中心に、中央自動車道双葉SAや県内の道の駅、富士の国やまなし館(東京)でのパンフレット等の配置を行い対応している。なお、(公財)山梨県林業公社の指定管理業務は、平成25年度で満了となった。	

7 管理体制(組織図)

